

# グリーンニューディール政策の アジアへのインパクト ～韓国分散エネルギーシステム構築に向けた挑戦～

2009年10月29日

(独)科学技術振興機構 研究開発戦略センター

岡山純子

(※)本発表は個人の見解に基づくものである

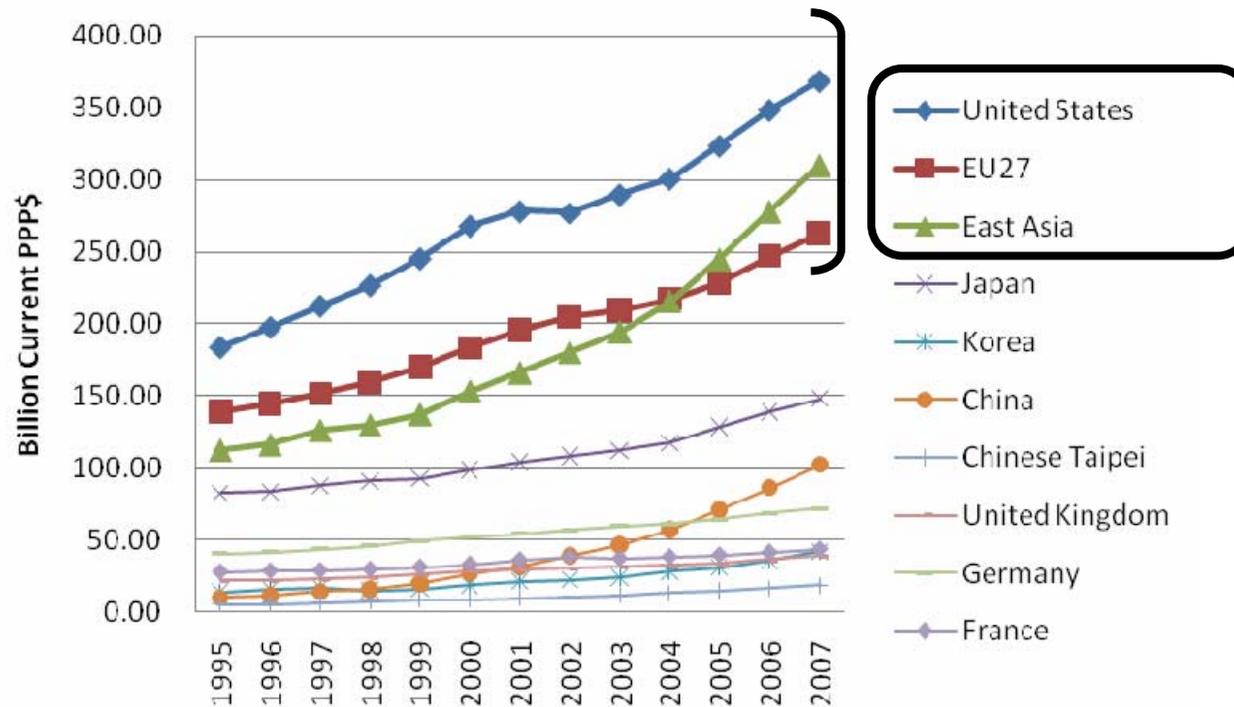
# グリーンニューディールの本質は？

- CO2削減、地球規模課題への対応
- 景気対策としての環境投資  
→ 目先の財政出動
- 分散エネルギー社会システム  
→ 既存の電力システム、自然エネルギー、情報通信技術が融合した新パラダイムの創成

# 東アジアは研究開発のホットスポットに・・・

- 東アジアの研究開発投資は既にEU27を抜いており、技術的ポテンシャルは高い地域となっている

各国・地域の研究開発支出の推移 (PPP)



Source: OECD Main Science and Technology Indicators 2009-1

# サンドイッチ経済に悩む韓国

- 急速に成長する中国と、先行する日本との双方から脅かされているとの危機感

	中国	韓国	日本	台湾
GDP current price	2兆6446億 <sup>ドル</sup>	8884億 <sup>ドル</sup>	4兆3771億 <sup>ドル</sup>	3655億 <sup>ドル</sup>
一人当たりGDP Current price	2,012 <sup>ドル</sup>	18,395 <sup>ドル</sup>	34,264 <sup>ドル</sup>	15,978 <sup>ドル</sup>
GDPの実質成長率	10.7%	5%	2.2%	4.6%
人口	13.14億人	4830万人	1.28億人	2288万人
面積	960万km <sup>2</sup>	9.96万km <sup>2</sup>	37.8万km <sup>2</sup>	3.62万km <sup>2</sup> (九州程度)

出典：IMF, World Economic Outlook Database, April 2008  
 World Bank, World Development Indicators 2007

データは2006年のもの(一部、推計値を含む)

# 李明博大統領の政策

- 国の方針: 低炭素・緑色成長(2008.8) “Green Growth”
  - 韓国版・グリーンニューディール政策の発表(2009.1)
  - 新成長動カビジョンと発展戦略: 緑色技術を中心とした研究開発の実施
- 政府組織の再編
  - 大統領府に緑色成長委員会を設置(2009.1): 省庁横断で「緑色技術」の研究開発に取り組む
  - 知識経済部の発足(2008.2): エネルギー、情報通信、産業技術を一元的に担う省庁の発足
- 研究開発投資の促進
  - 2012年の研究開発投資目標: 対GDP比5%(2008.8)
    - 2006年実績・・・韓国3.22%、日本:3.67%
  - 政府R&D予算の半分を基礎・基盤研究へ(～2012年)

# 韓国が取り組む緑色技術 (例: オンライン電気自動車)

- 道路に埋設された電線の上 (on line) を走る自動車
  - 電線を通じて、自動車が電気や情報と接続
  - 最大走行距離の制限無し (バッテリーは補助エネルギー源)  
→ フレキシブル有機太陽電池を自動車の窓に設置し、電気自動車の補助電源として使用する太陽電池技術開発を別途実施
- KAISTがモデル車の開発に成功。今年2月には李明博大統領も試乗
- 今後はモデル地区を選定し、普及を促進
- 更には、インテリジェント交通システムを包含する「先端グリーン都市」づくりの推進も別途実施。「都市システム」として海外進出も視野に入れる



# 韓国における グローバルネットワーク構築への取り組み

- 米国との連携
  - スマートグリッド関連業界団体間の協力
    - 米・GridWise Alliance - 韓・Korea Smart Grid Association
  - 企業間の技術協力
    - GEの韓・ヌリテレコムへのスマートグリッドに係る技術協力
  - 米韓FTA
- EUとの連携
  - 欧州の技術・市場へのアクセスの足がかりとして、EUREKA(マーケット志向の研究開発協力を行う欧州のプロジェクト)に欧州圏外で初めて加盟(2009.6)
  - EU-韓FTA仮署名(2009.10)

# 日本が韓国の取組から得られる示唆

- 技術を「システム」としてパッケージ化する
- 海外の技術・標準動向を把握し、自国で開発したシステムが、グローバルに接合する形を整える
- 海外市場へのアクセスを確保する

「日韓グリーンパートナーシップ構想」を  
どう具体化するか？